



中西 顕治

### 子育て環境の将来像は？

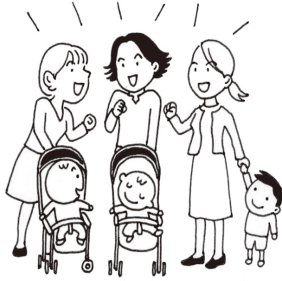
**問** 町内児童を対象にニーズ調査を行い、調査結果から数量見込み等の報告を府に提出している。本町の子育て環境の将来を問う。

**答** 昨年11月に実施したニーズ調査の集計に基づく量の見込みについては、現在、府に4月末、7月末、8月末時点で報告を行っており、9月末時点が最終の報告となる予定である。最終の量の見込みを算出するために、昨年度のニーズ調査では調査対象としていなかった在宅子育ての家庭を対象として、現在、追加ニーズ調査を実施している。量の見込みは、この調査結果を合わせて算出を行い意見を伺いたい。

### 子ども・子育て支援新制度の進捗よく

**問** ニーズ調査の回答数が58世帯という非常に少ない回答数になっている。実態を表すことができない調査数であったのか。

**答** 昨年度のニーズ調査から数量を見込んで提出をしているが、実際の保育ニーズと数字がかけ離れた部分があった。その辺を勘案して、在宅子育て家庭へのニーズ調査を再度実施し、実態をもう少し詳細につかむために9月末のニーズ量の見込みに反映させる。



**問** 子ども・子育て新制度というのは、一部少子化対策にも絡んで議論されている。真剣に少子化対策という面からも位置付けて考えていただきたい。

**答** この支援新制度では保育の現状をできるだけ維持しつつ少子化対策も含めて検討していく。

**問** 人口減少を食い止めている先進自治体に共通した点で、充実した子育て支援が行われている。そして、定住促進対策事業を必ず持っているという部分で学ぶべき点があるのではないか。

**答** 可能な限り保護者の方が子供を育てやすいという環境を作っていくということが、一つ大きな定住促進に繋がるのではないかと考える。

## 一般質問



福中 満

### 町財政の健全化について

**問** 人口減少に伴う町税収入の減少と大型事業による歳出増加という2つの財政課題をふまえ、新たな町づくりはどう取り組んでいくか。

**答** 今後、公債費の増加等により、経常歳出の増加が見込まれることから、現状の水準を維持するため経常収支比率95%を上回らないことを目標としている。

新学校建設・新火葬場建設・消防常備化等、今後多くの財源を投入していくが、財政収支を均衡させるため、総人件費の抑制・事務事業の精査・公の施設等のあり方検討について行財政改革プロジェクト本部で検討を進めている。地方自治体は限りある財源をいかに配分するか、どのようなサービスを、

### 一、町財政の健全化について 二、獣害対策について

どのような方を対象に、どのような水準で提供していくかについて判断していかなければならない。これにより現在提供している住民サービスが低下する場面もあるが、理解と協力を願う。

能勢町では本年度より近隣市町の猟友会に有害捕獲活動への協力を要請し、有害捕獲数を増やしていきたいと考えている。

### 獣害対策について

**問** イノシシ・シカ等による農作物等の被害を減らしていくための今後の課題は何か。

**答** 現在実際に捕獲に携わっていたらいてる猟友会の会員、特に猟銃免許所持者の高齢化が大きな課題である。大阪府猟友会では猟銃取得希望者に対し、申請から免許取得まで手続きをサポートする制度を導入し、会員の確保に努めている。能勢町でも新たな会員を育てようと猟友会を通じて働きかけをしていただ